



**新年を迎えるにあたり  
大神様の御神徳を仰ぎ**

**皆様の家運隆昌と家内安全を  
お祈り申し上げます。**

**新年のご案内**

◆ 祭典のご案内

大晦日 午後十一時三十分より除夜祭  
正月 午前0時より歳旦祭

◆ 二年参り、初詣のご案内

大晦日から元旦にかけてお参りする「二年参り」。一年の感謝と、新たに新年を迎える気持ちを、元旦午前0時に鳴りわたる太鼓の響きとともに新年をお迎えください。

◆ 新年祈願祭のご案内

元日より新年祈願祭をご奉仕いたします。  
商賈繁昌・交通安全・作業安全・社内安全等、  
団体様向けの祈願祭、家内安全・厄除祈願、  
身体健康・入試合格祈願等、個人様向けの諸  
祈願祭があります。特に受験合格祈願には天  
神様、菅原道真公の御神徳あらたかでござい  
ます。また当社には合格祈願拂て牛がござい  
ます。境内には神楽殿西側に合格祈願拂て牛、  
昇殿参拝者は拂殿入口にもござります。どうぞ、合格祈願の誠の心をこめて拂でいた  
だきますようご案内申し上げます。

団体様の祈願は予約をいたいであります。  
ですので社務所までお問い合わせください。

◆ 駐車場のご案内

御神社は当神社にて領布始祭を厳修の後、各  
町会氏子総代を通じて皆様のご家庭へ領布致  
しております。また、当神社授与所でいつでも  
お受け戴けます。

◆ 梅風閣のご案内

恒例の節分祭を斎行致します。

一月三日

当神社併設の梅風閣にて忘年会  
承っております。御家族や会社の皆様是非  
ご利用ください。また、御宿参り・七五三等  
のお祝いの席にもご利用ください。  
お問い合わせはございませんのでご家族皆様安心  
してご参拝いただけます。

年男・年女の奉仕や豆まさ  
にて厄祓いを希望の方は各町会  
氏子総代にお問い合わせいただき  
ますか、一月三十日までに社  
務所へお申し込み下さい。人気  
が高まり機や液晶テレビなどの豪  
華賞品、福袋、福豆等の福を受  
けに来る方の参加はご自由です。子供専  
用コートもありますのでご家族皆様安心  
してご参拝いただけます。

境内にお停めいただけますが、大変込み合  
いますので、できるだけ公共交通機関をご利  
用いただけますようご案内申し上げます。

フリーダイヤル 0120-1222829  
ホームページ <http://fukashitenjin.or.jp/>

**ふかし 深志神社社報 第9号**

発行日 平成21年11月25日  
発行所 深志神社社務所  
〒390-0815  
松本市深志3丁目7番43号  
電話 0263-32-1214  
FAX 0263-32-5908  
<http://www.fukashi-tenjin.or.jp>  
印刷 (株)日本広告

**梅鉢紋 天満宮御神紋**

**庄内 清水・巾上 奉納〈神樂殿西側〉**

昭和27年、菅公御神忌〇五〇  
年祭に奉納。平成19年に新調。  
揮毫者上條義守氏は里山辺の  
須須岐木水神社宮司。松本平の  
祭礼幟を多数揮毫する。

**長澤中 奉納〈南鳥居先〉**

「健命神威垂不朽 庄内 清水  
一國報宮村之神功 氏子中」

「瑞雲浮瓊樹 長澤中／建之」

「菅公靈德播無窮 七十七翁義守謹書」

**喜氣繞社頭 黄樹揮書**

**長澤中 奉納〈南鳥居入口〉**

明治32年(己寅)奉納。揮毫者「黄樹」は不詳。

**庄内 清水・巾上 奉納〈神樂殿西側〉**

「文政新元戊寅夏六月 敦旦 勲力造之  
一國報宮村之神功 氏子中」

「昭和四十一年七月吉日再調  
萬世仰菅公之威德 氏子中」

**長澤中 奉納〈南鳥居入口〉**

「鵬齋龜田興薰沐揮書」

**長澤中 奉納〈南鳥居入口〉**

「健命神威垂不朽 庄内 清水  
一國報宮村之神功 氏子中」

**喜氣繞社頭 黄樹揮書**

**長澤中 奉納〈南鳥居入口〉**

「瑞雲浮瓊樹 長澤中／建之」

「菅公靈德播無窮 七十七翁義守謹書」

**長澤中 奉納〈南鳥居入口〉**

「喜氣繞社頭 黄樹揮書」

**長澤中 奉納〈南鳥居入口〉**

「鵬齋龜田興薰沐揮書」

**長澤中 奉納〈南鳥居入口〉**

「一國報宮村之神功 氏子中」

**氏子中 奉納〈西正面参道〉**

揮毫者亀田鵬齋は江戸後期の儒学者・書家。  
名は興・長興。折衷学派で寛政異学の禁にあつ  
た五鬼の一人。詩と書は特異な風格で知られた。  
文政元年(1818)に揮毫、昭和41年に再調。

**祭礼幟**



平成21年8月3日付け「市民タイムス」より

## 社頭の四季折々から



市民芸術館屋上から 平成20年4月



**伝統継続へ盛んな活動**

天神祭り

「上げて上げて、せーえながく、天神祭り一が行進がす進したる華のみこし。町をめぐる華やかな舞(山車)は、社々で進行方向を変更する。」  
（平成21年8月3日付け「市民タイムス」より）

■今年の天神まつり

7月24日・25日、今年も深志神社の例大祭・天神まつりが行われました。今年の夏は天候不順で、梅雨もいつ開けたのか開けなかつたのか、といった具合。両日とも神事祭事の間は何とか持つたものの、神輿渡御・舞台行事は雨に祟られました。でも天神様は雷神ですから恨み言を言うわけにも参りません。

さて、今年の天神まつり、舞台保存会としては昨年に引き続いて『松本の祭囃子伝承スクール』によるお囃子の発表と舞台乗の事業を行いました。今年2年目を迎えた『松本の祭囃子伝承スクール』は、6月上旬から土日に開催し、11回の半分以下のが全体制にて開催しました。参加者は去年35名ほどでした。

供たちは覚えが早い。今年初めてスケールを無事にこなしました。が全体に自分が届く適当な人数で、指導もしやすかったです。

「祭囃子伝承スクール」風景  
（まづから始まります）

「祭囃子伝承スクール」練習風景  
（まづから始まります）

■松本深志舞台保存会だより（7）

■舞台人形「神武天皇」の修復

例祭の直前に中町2丁目の舞台が修復・竣工し、その舞台人形「神武天皇」も修復され、装いも新たに美しくよみがえりました。舞台の上だと遠く積載前に撮影した写真をご覧ください。

この人形は中町2丁目の形師太田鶴齋の作ですが、細部まで精密に作り込まれた見事なもので、今回は元作の品位を損なわぬよう東京の専門工房の人形師さんに修復してもらいました。日に焼けて変色した衣装はすべて新調されましたので、雰囲気もすいぶん華やかになりました。

来年の天神まつりということになりますが、まだご覧ない方はぜひ双眼鏡を手にお越しください。

■今年の天神まつり

7月24日・25日、今年も深志神社の例大祭・天神まつりが行われました。今年の夏は天候不順で、梅雨もいつ開けたのか開けなかつたのか、といった具合。両日とも神事祭事の間は何とか持つたものの、神輿渡御・舞台行事は雨に祟られました。でも天神様は雷神ですから恨み言を言うわけにも参りません。

さて、今年の天神まつり、舞台保存会としては昨年に引き続いて『松本の祭囃子伝承スクール』によるお囃子の発表と舞台乗の事業を行いました。今年2年目を迎えた『松本の祭囃子伝承スクール』は、6月上旬から土日に開催し、11回の半分以下のが全体制にて開催しました。参加者は去年35名ほどでした。

供たちは覚えが早い。今年初めてスケールを無事にこなしました。が全体に自分が届く適当な人数で、指導もしやすかったです。

「祭囃子伝承スクール」風景  
（まづから始まります）

「祭囃子伝承スクール」練習風景  
（まづから始まります）

■松本深志舞台保存会だより（7）

■舞台人形「神武天皇」の修復

例祭の直前に中町2丁目の舞台が修復・竣工し、その舞台人形「神武天皇」も修復され、装いも新たに美しくよみがえりました。舞台の上だと遠く積載前に撮影した写真をご覧ください。

この人形は中町2丁目の形師太田鶴齋の作ですが、細部まで精密に作り込まれた見事なもので、今回は元作の品位を損なわぬよう東京の専門工房の人形師さんに修復してもらいました。日に焼けて変色した衣装はすべて新調されましたので、雰囲気もすいぶん華やかになりました。

来年の天神まつりということになりますが、まだご覧ない方はぜひ双眼鏡を手にお越しください。

■今年の天神まつり

7月24日・25日、今年も深志神社の例大祭・天神まつりが行われました。今年の夏は天候不順で、梅雨もいつ開けたのか開けなかつたのか、といった具合。両日とも神事祭事の間は何とか持つたものの、神輿渡御・舞台行事は雨に祟られました。でも天神様は雷神ですから恨み言を言うわけにも参りません。

さて、今年の天神まつり、舞台保存会としては昨年に引き続いて『松本の祭囃子伝承スクール』によるお囃子の発表と舞台乗の事業を行いました。今年2年目を迎えた『松本の祭囃子伝承スクール』は、6月上旬から土日に開催し、11回の半分以下のが全体制にて開催されました。参加者は去年35名ほどでした。

供たちは覚えが早い。今年初めてスケールを無事にこなしました。が全体に自分が届く適当な人数で、指導もしやすかったです。

「祭囃子伝承スクール」風景  
（まづから始まります）

「祭囃子伝承スクール」練習風景  
（まづから始まります）

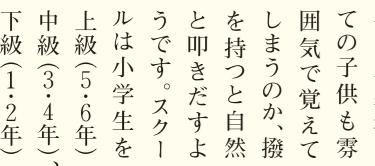
■松本深志舞台保存会だより（7）

■舞台人形「神武天皇」の修復

例祭の直前に中町2丁目の舞台が修復・竣工し、その舞台人形「神武天皇」も修復され、装いも新たに美しくよみがえりました。舞台の上だと遠く積載前に撮影した写真をご覧ください。

この人形は中町2丁目の形師太田鶴齋の作ですが、細部まで精密に作り込まれた見事なもので、今回は元作の品位を損なわぬよう東京の専門工房の人形師さんに修復してもらいました。日に焼けて変色した衣装はすべて新調されましたので、雰囲気もすいぶん華やかになりました。

来年の天神まつりということになりますが、まだご覧ない方はぜひ双眼鏡を手にお越しください。

「祭囃子伝承スクール」風景  
（まづから始まります）「祭囃子伝承スクール」練習風景  
（まづから始まります）

「祭囃子伝承スクール」発表会 神楽殿にて



修復され華やかに生まれ変わった舞台人形「神武天皇像」

の3グループに分け、それぞれ太鼓、小太鼓、チャンチャヤンを習うのですが、スクール終盤には3、4年生も大太鼓を低学年の子も撥を持って小太鼓を叩き、4曲の課題曲を二通り叩けるようになっていました。

指導者によると特に4年生は優秀な子が多く将来が楽しみとのこと。いつの日か、この中から深志舞台のお囃子指導者が出てくれればうれしいのですが。

例祭の直前に中町2丁目の舞台が修復・竣工し、その舞台人形「神武天皇」も修復され、装いも新たに美しくよみがえりました。舞台の上だと遠く積載前に撮影した写真をご覧ください。

この人形は中町2丁目の形師太田鶴齋の作ですが、細部まで精密に作り込まれた見事なもので、今回は元作の品位を損なわぬよう東京の専門工房の人形師さんに修復してもらいました。日に焼けて変色した衣装はすべて新調されましたので、雰囲気もすいぶん華やかになりました。

来年の天神まつりということになりますが、まだご覧ない方はぜひ双眼鏡を手にお越しください。

■今年の天神まつり

7月24日・25日、今年も深志神社の例大祭・天神まつりが行われました。今年の夏は天候不順で、梅雨もいつ開けたのか開けなかつたのか、といった具合。両日とも神事祭事の間は何とか持つたものの、神輿渡御・舞台行事は雨に祟られました。でも天神様は雷神ですから恨み言を言うわけにも参りません。

さて、今年の天神まつり、舞台保存会としては昨年に引き続いて『松本の祭囃子伝承スクール』によるお囃子の発表と舞台乗の事業を行いました。今年2年目を迎えた『松本の祭囃子伝承スクール』は、6月上旬から土日に開催し、11回の半分以下のが全体制にて開催されました。参加者は去年35名ほどでした。

供たちは覚えが早い。今年初めてスケールを無事にこなしました。が全体に自分が届く適当な人数で、指導もしやすかったです。

「祭囃子伝承スクール」風景  
（まづから始まります）

「祭囃子伝承スクール」練習風景  
（まづから始まります）

■松本深志舞台保存会だより（7）

■舞台人形「神武天皇」の修復

例祭の直前に中町2丁目の舞台が修復・竣工し、その舞台人形「神武天皇」も修復され、装いも新たに美しくよみがえりました。舞台の上だと遠く積載前に撮影した写真をご覧ください。

この人形は中町2丁目の形師太田鶴齋の作ですが、細部まで精密に作り込まれた見事なもので、今回は元作の品位を損なわぬよう東京の専門工房の人形師さんに修復してもらいました。日に焼けて変色した衣装はすべて新調されましたので、雰囲気もすいぶん華やかになりました。

来年の天神まつりということになりますが、まだご覧ない方はぜひ双眼鏡を手にお越しください。